

サービス・ニュース Service & News

障がい者サービスを開始しました

千代田区内図書館の所蔵資料を音訳者が読んだり、本を音声で再現する機器を貸し出します。また、来館することが困難な方には、郵送による資料の貸出サービスを行います。※音訳者とは視覚障がい者の代わりに本を読む人のこと。

Q.どんなサービス?

対面朗読サービス	火・水10:00~17:00、1日1回2時間以内
DAISY(ディジー)図書再生機貸出サービス	視覚障がいの方は4週間まで、 その他の方は2週間まで
郵送貸出サービス	点字・録音図書は20冊まで4週間、 その他の資料は10冊まで2週間

Q.サービスを利用するには?

千代田区内在住か、通勤通学されている方で、障がい者手帳または介護保険被保険者証(要介護以上)をお持ちの方が登録できます。来館(代理人可)、電話、郵送、FAXで申込みを受け付けています。詳しくは、図書フロア・障がい者サービス担当までご相談ください。

■ お問合せ先: 電話(03-3502-3343)

8月の展示情報 Exhibition

2F パールゾーン
 <役立つ!>「図書館Walker ニーズから探る、図書館利用法」
 専門図書館の紹介や都立図書館ホームページのパネル展示を行っています。情報を得たい時、調べものがある時などにお役立てください。

- カレッジ連携展示 ▶ 「疎開した40万冊の図書」(～8月末)
- 常設コーナー ▶ 「日比谷図書館の歴史」「太田道灌コーナー」

2F オレンジゾーン
 <NEW!>「今こそ、統計!～統計の世界へようこそ～」
 統計の読み方についての本を中心に、日本の統計、世界の統計、歴史の統計など、さまざまな統計書を紹介。今、注目したい統計の世界へご案内いたします。

- 注目展示 ▶ 「UPDATE -ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ帳」
- 常設コーナー ▶ 「アメリカンシェルフ」

2F ホール
 <日比谷カレッジ運動展示>
 グリム童話初版刊行200年記念「ガラスの中のグリムの世界」

3F ブルーゾーン
 <提案!>「ことば典の世界」(8/20～)
 昨年、三浦しんさんの小説「舟を編む」でも話題になった辞書について、出版各社の歴史、特色や魅力を紹介いたします。

- 「日本の特撮×撮影技術」(～8月中旬まで)

※展示内容は変更する場合がございます。

わたしの一冊

当館スタッフの推薦本をご紹介します。

『T.レビットマーケティング論』セオドア・レビット著

おすすめする人 図書フロア 高橋和敬

フィリップ・コトラーとならび、マーケティング論の巨匠と呼ばれたセオドア・レビット(1925年～2006年)がハーバード・ビジネスレビュー誌に寄稿した全論文が収められています。彼の代表的な論文である「マーケティング近視眼(1960年)」も収録され、「事業の定義やマーケティング」「イノベーション」について、今も多くの示唆を与えてくれる一冊です。新しいアイデアを考える時、私はいつもこの本に書かれていることを思い返しています。

ダイヤモンド社 2007年
 論文という堅苦し
 いイメージがあるか
 もしも、レビット
 の先見的な指摘や
 鋭い洞察力などビ
 ジネス書としても読
 みごたえがあります。

ZONE pick up! Green zone

3階グリーンゾーン
 <哲学・歴史・自然科学・技術工学>などの本を集めた図書フロア

<常設コーナー>

『グリーン・イノベーション～環境と持続可能な社会の実現に向けて～』

「グリーン経済」や「サステナブル」な社会は世界が目指すべき方向です。そこで、「持続可能性」「生物多様性」「環境」などに関する情報窓口となるコーナーをつくりました。千代田区も今年3月に生物多様性推進プランを策定。区が行っている環境への取り組みの紹介や、企業の発行しているCSR報告書などもご覧いただけます。緑の美しい季節、さまざまな視点で環境問題を考えてみませんか。

『地球の論点』
 スチュアート・ブランド著
 英治出版 2011年

「地球の温度を下げるには?」など、科学の力で未来を救うための様々な提案が書かれています。

『2052』
 ヨルゲン・ランダース著
 日経BP社 2013年

全世界に重大な警告を与えた『成長の限界』の著者の1人が経済、エネルギー、政治などの次なる40年を予測した話題の書。

<メイン展示>

『知の入り口 -文庫と新書の世界-』

文庫と新書の歴史を中心に、新書を選ぶ時に便利なサイトや話題の本を紹介しています。日本の文庫の原点といわれる、ドイツのレクラム文庫も展示中。

日比谷カレッジ Hibiya College

「世界の図書館で今、何が起きているのか?」

アントネッラ・アンニョリ氏来日記念講演会

日比谷カレッジ報告

世界の図書館シリーズ第2回はイタリア・ボローニャ市図書館協議会理事のアンニョリ氏を迎えて開催しました。まず参加者から質問を集め、アンニョリ氏がそれぞれに答える形式でスタート。数多くの図書館訪問やリノベーションのご経験を交え、丁寧に答えてくださいました。次に、注目する「世界の図書館」の様子を映像で紹介。魅力的で楽しい図書館をピックアップし、日本の図書館との比較にも興味深い事例があげられました。現在のトレンドを体験に基づいた提案され、「文化施設が作る心理的な壁をどうする?」「金融危機以降のコスト問題とは?」など、一人一人が柔軟な発想で考えることのできる講演会となりました。

図書館の未来は我々次第。図書館員も建築家も変わらなくてはなりません、と語る講師アンニョリ氏。『知の広場-図書館と自由』(みずす書房)の著者として、世界中から注目を浴びています。

6月14日 開催

2階カウンター前にウェルカムボードを設置。イタリア国旗や出身地の風景写真に感激のアンニョリ氏「Grazie! (ありがとう)」。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

終わりがら始まるものがたり

25の問いと100冊の本

2013年8月15日[木] - 10月14日[月・祝]
 @日比谷図書文化館

大切なことが見えてくる。

「体験型展覧会」

すべてのものごとには「終わり」があります。にも関わらず、私たちは忙しい毎日の中で、終わりに向かい合うことなく、日々を過ごしてしまっています。

この展覧会は、昨年春に日本科学未来館で開催された企画展「世界の終わりがたたり」をヒントとして、自分なりの「終わり」から始まる新たな希望のものがたりへと導くきっかけとなる展覧会です。

「世界の終わりを想像したことがありますか?」「生きてみたいに絶対に行きたいことはなんですか?」「さまざまな観点から投げかけられる25の問いとそれら問いに対する示唆や図書館司書が選んだ100冊の「本」をヒントとして、自分なりの「終わり」から始まる新たな希望のものがたりへと導くきっかけとなる展覧会です。」

逃れられない73の問い」を元に再構成されており、会場に入ると次々に「問い」が現れます。

「世界の終わりを想像したことがありますか?」「生きてみたいに絶対に行きたいことはなんですか?」「さまざまな観点から投げかけられる25の問いとそれら問いに対する示唆や図書館司書が選んだ100冊の「本」をヒントとして、自分なりの「終わり」から始まる新たな希望のものがたりへと導くきっかけとなる展覧会です。」

主催: 千代田区立日比谷図書文化館 ■ 企画: 日本科学未来館
 会期: 2013年8月15日(木)～10月14日(月・祝)
 ※休館日8月19日(月)、9月16日(月)
 観覧時間: 平日・10:00～20:00、土・10:00～19:00、日祝・10:00～17:00(入室は閉室30分前まで)
 会場: 千代田区立日比谷図書文化館1F 特別展示室
 特別展観覧料: 一般300円 大学・高校生200円
 ※区民・中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料
 交通機関: 東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関」徒歩5分、都営地下鉄三田線「内幸町」徒歩3分、JR「新橋」徒歩10分
 ※当館には専用の駐車場がございません。
 お車で来館の際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

特別展「終わりがら始まるものがたり」関連イベント

ワークショップ「終わりカラー～色からものがたりをつくらう～」

- 講師: 丸山誠司(イラストレーター)
- 日時: 8月18日(日) 14:00～16:00(受付開始13:30～)
- 場所: 日比谷図書文化館4階スタジオプラス(小ホール)
- 参加費: 2000円(材料費含む)
- 定員: 小・中学生20名(申込順、定員になり次第締切)

※当日は汚れてもよい服装でお越しください。またハサミ、ノリ、クレヨンまたはカラーペンを各自でご持参ください。

トークイベント「ひとつの音楽、ひとつの生命～音楽のはじまりと終わりをめぐって」

- 講師: 小沼純一(音楽・文芸批評家)
- 日時: 9月14日(土) 12:00～13:30(受付開始11:30～)
- 場所: 日比谷図書文化館4階スタジオプラス(小ホール)
- 参加費: 500円(千代田区民無料)
- 定員: 60名(申込順、定員になり次第締切)

※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

■ 申し込み方法: 電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館のうえ1F受付にて

calendar

開館時間: 平日10時～22時、土曜10時～19時、日祝10時～17時、休館日

2013年 8月							2013年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

■ お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access

東京メトロ
 ●千代田線
 ●日比谷線
 ●丸ノ内線
 「霞ヶ関」徒歩5分
 JR「新橋」徒歩10分
 都営地下鉄
 ●三田線
 ●内幸町 徒歩3分

駐車場
 当施設に駐車場は
 ございません。
 公共機関を
 ご利用ください。

8・9月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

8/3 (土) ひびや落語会@ライブラリー 噺 -参-

出演：柳家さん生、柳家甚語楼、他
※今回は、真打ちクラスのゲストが参加予定ですが、今現在未定です。

今回は「葉月納涼、夏の怪談噺！」と題して、この季節ならではの演目をご用意！怪談の名作、圓朝作「真景累ヶ淵」の口演をはじめ、ちょっと滑稽な幽霊噺などの怪談特集です。葉月8月、日比谷での納涼体験をお楽しみください！（主催：DNA／協力：ジグノシステムジャパン）



柳家さん生



柳家甚語楼

- 日時：8月3日(土)14:00～16:30(13:30より受付)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■木戸銭(全席自由)：前売 2000円／当日 2500円
- ※前売り券はチケットぴあ、e-プラスほかで発売中。当館1階受付でも取り扱い中。

8/6 (火) 第二回新藤兼人映画祭

昨年5月29日享年100歳でお亡くなりになられた広島出身の映画監督、新藤兼人の功績を偲び、昨年に引き続き新藤兼人映画祭を開催します。今回は、同じく昨年10月にお亡くなりになられた若松孝二監督の作品も取り上げ、二人の映画監督の作品を通して反戦への思いを込め、ダブル追悼映画祭として開催します。特に「恐るべき遺産 裸の影」は、奇跡的にフィルムセンターから発掘された幻の若松作品です。（主催：オフィスパンタレイ）



- 日時：8月6日(火)
 - ①10:30開演(10:00より受付)『原爆の子』(90分)
 - ②13:00開演(12:30より受付)『キャタピラー』(若松孝二監督作品)(84分)
 - ③16:30開演(16:00より受付)『恐るべき遺産 裸の影』(若松孝二監督作品)(85分)
 - ④19:00開演(18:30より受付)『一枚のハガキ』(114分)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：各回200名
■参加費：各回1200円(前売り各回1000円)

8/7 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス 「Think Design, Think System」

ーモノ・コトの新たなあり方を問う

講師：田子 學(MTDO inc 代表取締役
アートディレクター／デザイナー TEDxTOKYO 2013スピーカー)
前野 隆司(慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科委員長・教授)

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科と連携し、ビジネスパーソンを中心に、新たな視点で創造的な答えを導くためのイノベティブ思考を学ぶ『HIBIYAイノベーション・キャンパス』をスタートします。第1回は「Think Design, Think System」と題し、TEDxTOKYO 2013のスピーカーも務めた田子学氏、日本のイノベーション教育をリードする慶應義塾大学大学院・教授の前野隆司氏を招き、今後の創造的なプロダクトやサービスの新たなあり方について、それぞれの視点からその本質を問い、鋭く洞察します。異色の2人のクロストークも必見です。（主催：イノベティブ・デザインLLC）



- 日時：8月7日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：150名 ■参加費：3000円

教えて！図書館用語【破損本(はそんぼん)】落書き・切り取り・破れや劣化によって破損した本や雑誌のこと。飲み物や食べ物をこぼして汚れた本は汚損本(おそんぼん)と呼ぶ。借りた本をうっかり汚したり破ったりした場合、状態によっては弁済(弁償)をお願いすることもあります。借りた本は大切に扱ってくださいね！

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

8/10 (土) ピースビレッジ第16回 「財政危機・金融危機とリスクの考え方～サステナビリティの実現～」

講師：國友 洋二郎(元財務官僚、現外資系証券会社ヴァイス・プレジデント)
現在、我が国では財政破綻の危機や「異次元の金融緩和」の副作用による危機の可能性が喧伝されています。むやみに不安をおおることなく、リスクを正しく認識したうえで未来を創造するために私たちができることを考えてみたいと思います。（主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム）

- 日時：8月10日(土)14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：3000円

8/15 (木) ドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」リニューアル版 上映会・トークショー

講師：早乙女 勝元(作家・東京大空襲戦災資料センター館長)、
長塚 京三(俳優)、松岡 要(元日本図書館協会事務局長)、
座間 直杜(NPO共同保存図書館・多摩理事長)、金高 謙二(映画監督)

1944年から45年に、日比谷図書館は空襲を避けるため40万冊の本を疎開させました。図書館員や都立一中の生徒が奥多摩などに運んだのです。文化を守るこの献身的な取組を次世代に伝えるドキュメンタリー映画リニューアル版の上映会と関係者のトークを行います。(上映102分)(主催：文化を守る映画製作委員会)



■日時：8月15日(木)

	上映	トークショー
1回目(14:30より受付)	15:00～16:45	16:45～17:30
2回目(18:30より受付)	トークショー 19:00～19:45	上映 19:45～21:30

■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：各回200名 ■参加費：各回1500円

8/16 (金) 近代都市開発の起源を徹底解明した猪瀬直樹 作家・東京都知事の原点 『土地の神話』『欲望のメディア』二著から読み解く特別セミナー 東京が変わる、東京を変える

講師：猪瀬 直樹(作家・東京都知事)

藤森照信氏が“学問のように調べ、小説のように書く人”(『土地の神話』〈小学館文庫〉解説より)と述べている作家であり東京都知事である猪瀬直樹氏。昨年の白熱の講義に続き、今年にはツイッターや情報メディアを駆使し言葉の力で改革する猪瀬都知事の原点である二冊の著書をもとに、東京の都市政策や9月7日の2020年オリンピック開催地決定までの思いなどを熱く語りつくしていただきます。（主催：日本計画研究所）



- 日時：8月16日(金)18:30～20:00(18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名
- 参加費：4500円(2冊の書籍代を含む) 『土地の神話』『欲望のメディア』(いずれも小学館文庫)

8/17 (土) ほか グリム童話初版刊行200年記念ワークショップ ガラスのプローチ作りとグリム紀行

講師：土井 朋子(ガラス作家)

切り絵フェーシングというガラス技法でオリジナルのガラスのプローチを作る夏のワークショップ。ガラスに挟み込める色紙(上絵単色転写紙)を使って、切り絵をガラスの中に封じ込めます。グリム童話初版から200年の今年、グリムに特別な思いを寄せグリムをモチーフとした作品を創作する講師からグリム童話のレクチャーもあります。※作品は後日、窯で焼いた後、発送します。

- 日時：8月17日(土)13:30～16:30(13:00より受付)
- 8月31日(土)13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場：3階 ライブラリープラス ■定員：各回15名 ■参加費：各回3000円

8/21 (水) 展覧会への入口 夏休み特別講座 アーツ千代田3331 × 日比谷図書文化館 「OpenSky3.0-欲しかった飛行機、作ってみた-」

講師：八谷 和彦(メディア・アーティスト)
想像していた未来が実現するなか、十分には実現していないもの、それは「個人用飛行装置」。“ないんだったら作ればいい”と講師は試行錯誤を繰り返し、個人的に飛行装置を作る「OpenSkyプロジェクト」を10年以上続けています。「自作の欲しかった飛行機」で目指した先にあるものとは？本講座では、アーツ千代田3331で開催中の『OpenSky3.0-欲しかった飛行機、作ってみた-』を通して夢を実現するアートの可能性についてお話します。



- 日時：8月21日(水)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

8/29 (木) iPadでも学ぶ「千代田Web図書館」使い方講座

講師：日比谷図書文化館 図書フロア スタッフ
インターネット上で電子図書(デジタル化した本や資料)を貸出・返却できるサービス、「千代田Web図書館」をご存知ですか？千代田区在住・在勤・在学者対象のサービスですが、一部の資料は、一般の方も閲覧可能です。今回の講座では、「千代田Web図書館」の使い方やコンテンツについてご案内します。

- 日時：8月29日(木)19:00～20:00(18:30より受付)
- 会場：3階 ライブラリープラス ■定員：10名 ■参加費：無料

8/29 (木) トップアスリートの挑戦(全3回) 第3回「氷上のアーティストたち」

講師：八木沼 純子(プロフィギュアスケーター)、吉井 妙子(ジャーナリスト)

挫折や限界を乗り越え、挑戦を続けるトップアスリートのお話から、人生の生き方を学ぶ3回講座。第3回は、八木沼純子氏をお招きし、フィギュアスケーターたちの強さの理由や、日本初のアイスショー「プリンスアイスワールド」での座長経験で得たマネジメントの仕方、解説者としての取り組みなどについて、対談形式で伺います。(主催：上廣倫理財団)



- 日時：8月29日(木)18:30～20:00(18:00より受付)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるもの、学生の方は学生証をお持ち下さい。

8/29 (木) ほか 「Trekking Café HIBIYAはじめての山あるき」(全5回)

講師：小日向 孝夫(日本山岳協会認定ガイド・「山と溪谷社」元編集長)
今、人気のトレッキングを楽しむための「5つのノウハウ」を学びます。はじめてトレッキングをする方へ、かしこくオシャレな山グッズの選び方・使い方、山地図や天気の見方、栄養補給、山写真の撮り方などをたのしみながら学べるトレッキング講座を開催します。

- 日時：8月29日(木) 19:00～20:30 第1回 山には「リズベクト」
 - 9月12日(木) 19:00～20:30 第2回 山には「オシャレ」
 - 9月19日(木) 19:30～21:00 第3回 山には「ごちそう」
 - 10月10日(木) 19:30～21:00 第4回 山には「まなび」
 - 10月26日(土) 13:00～15:30 第5回 山には「思い出ポケット」
- (いずれも30分前より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)他 ■定員：35名 ■参加費：5500円(5回分)

コンシエルジュより

『日比谷公園 丸ノ内音頭 大盆踊り大会』

夏の夜空の下で行われる盆踊りは、日本の夏を感じさせる風物詩の1つです。その土地ならではの曲と踊りがあるなか、「東京音頭」は様々な場面に使われ有名な盆踊りの曲の1つではないでしょうか。そもそも「東京音頭」は、昭和7年に不況の世の中を元気づけようと商店主らによって作られ、日比谷公園で披露された「丸ノ内音頭」が原曲となっています。その「丸ノ内音頭」が再び日比谷公園の大盆踊り大会として復活し、毎年多くの人が参加します。都会の真ん中で踊りの輪に加わってみたいはいかがでしょうか。



- 日時：8月9日(金)・10日(土)18時～21時(小雨決行)

9/4 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス 「【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考-目的の見える化からアイデアを創造する」

講師：石橋 金徳(慶應義塾大学SDM研究科特助助教授)
富田 欣和(慶應義塾大学SDM研究科非常勤講師)
麻生 陽平(慶應義塾大学SDM研究科非常勤講師)

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科と連携し、ビジネスパーソンを中心に、新たな視点で創造的な答えを導くためのイノベティブ思考を学ぶ『HIBIYAイノベーション・キャンパス』。デザイン思考やシステム思考になじみのない方、むずかしい話が苦手な方にもわかりやすく、気軽にご参加いただける「【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考」を実施します。慶應義塾大学大学院にて、イノベティブ思考の講義を担当する講師陣がわかりやすく教えるワークショップ形式の体験版にぜひご参加ください。(主催：イノベティブ・デザインLLC)



- 日時：9月4日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：48名 ■参加費：3000円

9/6 (金) 千代田区民講座 江戸の老舗どぜう料理店主が語る ～隅田川の流れとともに～

講師：渡辺 孝之(駒形どぜう六代目当主)

どじょう料理は、頭から丸ごと食べる「一物全体食」で、からだに良い貴重なタンパク源として人々に愛され、日本の伝統食として親しまれています。近年では品薄のうなぎに替わる食材としても注目されています。1801年、11代将軍徳川家斉の時代に創業した、老舗のどじょう料理店主が、200余年という長い歴史を支えた家訓、守り抜かれた味とおもてなしの心、時代とともに変わる商いのありかたなどについてお話します。(主催：神田雑学大学)

- 日時：9月6日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料
- ※8月6日(月)から千代田区民先行受付開始(区民以外は12日から受付開始)

9/6 (金) 日比谷コトづくり塾(第3回) 「スポーツで地域を元気にする」

～公共政策としてのスポーツ施設の活用と民間の連携～

講師：南 学(神奈川大学特任教授・日比谷コトづくり塾塾長)他

全国各地でスポーツ施設の誘致、民間の活用によるスポーツ施設の活性化など、スポーツをキーワードにしたまちづくりが多く行われています。日比谷コトづくり塾(第3回)では、「スポーツで地域を元気にする」～公共政策としてのスポーツ施設の活用と民間の連携～をテーマとして開催いたします。(主催：一般社団法人日本経営協会)



- 日時：9月6日(金)13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：5250円

特別研究室 ミニ通信

特別研究室夏休み展示企画 「日本を描いた西洋の古文獻」

開催中～9月15日(日)

本展は、4/8～6/23まで開催した「挿絵で楽しむ内田嘉吉文庫」の総集編として、西洋人が描いた日本の地図、風景や人々の姿の挿絵がある資料をセレクト展示します。先日世界文化遺産に登録された富士山の挿絵も何点か展示しています。西洋人が描いた美しい富士山、自然の荒々しさを感じさせる富士山、そして変わった形をした富士山などの挿絵をお楽しみください。なお、期間中アンケート回答者の中から抽選で5名様に、「いせ松」が復刻した、内田嘉吉文庫のドイツ版「日本支那暹羅羅観(オイレンブルク遠征図録)」の画像5点のうち1点をプレゼントします。



- お問い合わせ：特別研究室 電話(03-3502-3340)